

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京国際大学
設置者名	学校法人東京国際大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
商	商	夜・通信	13		22	35	13	
	経営	夜・通信			42	55	13	
経済	経済	夜・通信			16	29	13	
言語コミュニケーション	英語コミュニケーション	夜・通信			14	27	13	
国際関係	国際関係	夜・通信			16	29	13	
	国際メディア	夜・通信			36	49	13	
人間社会	福祉心理	夜・通信			23	36	13	
	人間スポーツ	夜・通信			21	34	13	
	スポーツ科	夜・通信			24	37	13	
経済	経済 English Track Program	夜・通信		8		32	40	13
国際関係	国際関係 English Track Program	夜・通信			20	28	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/pdf/2020jitsumu_keiken_kamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京国際大学
設置者名	学校法人東京国際大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/officers.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2019.4.1 ~ 2021.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	他法人役員	2019.4.1 ~ 2021.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	他大学名誉教授	2019.4.1 ~ 2021.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	他法人役員	2019.4.1 ~ 2021.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	他法人役員	2019.4.1 ~ 2021.3.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京国際大学
設置者名	学校法人東京国際大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)の作成過程・公表時期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12月上旬～12月下旬</td> <td>教員宛に担当科目の通知及びシラバス作成依頼</td> </tr> <tr> <td>12月中旬～1月上旬</td> <td>シラバス入力期間</td> </tr> <tr> <td>～1月末日</td> <td>担当者によるシラバス記載内容の確認～修正</td> </tr> <tr> <td>2月上旬～3月中旬</td> <td>学部長～学長による内容確認</td> </tr> <tr> <td>3月下旬～</td> <td>Webにてシラバス公開</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業テーマ及び授業内容の記述を体系的な視点から授業の位置付け・学修の狙い等が分かるよう配慮した記述とすべく、毎回の授業方法に、講義・演習他、アクティブ・ラーニング方式等をシラバスに明記するよう依頼し、実質性のない授業計画にならないよう具体例を提示したシラバス作成要領を準備している。 ・シラバス記載項目として、授業(含実務経験のある教員等の実務経験を活かした実践的教育授業)の内容・方法、各回の授業計画、到達目標、成績評価の方法・基準、事前事後準備学修(含所要時間)、試験・課題等のフィードバック方法に加え、教科書・参考文献・成績評価基準に対しての補足記載欄、特記事項・関連科目や履修上望むこと・授業に関する質問への対応について項目を設けている。 ・作成過程において、担当者(第三者)が都度チェックを行い、実質性のないシラバスについては改善を指し示し、改善されるまで再作成を依頼している。 <p>授業計画書の公表方法 https://tiu-op-prtl.tiu.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</p>		時期	内容	12月上旬～12月下旬	教員宛に担当科目の通知及びシラバス作成依頼	12月中旬～1月上旬	シラバス入力期間	～1月末日	担当者によるシラバス記載内容の確認～修正	2月上旬～3月中旬	学部長～学長による内容確認	3月下旬～	Webにてシラバス公開
時期	内容												
12月上旬～12月下旬	教員宛に担当科目の通知及びシラバス作成依頼												
12月中旬～1月上旬	シラバス入力期間												
～1月末日	担当者によるシラバス記載内容の確認～修正												
2月上旬～3月中旬	学部長～学長による内容確認												
3月下旬～	Webにてシラバス公開												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>													

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

- ・シラバスにおいて予め学生に示された成績評価基準（平常点・定期試験・レポート・その他）により厳格且つ適正に評価を行っている。平常点、その他については曖昧さを排除するために、「その他詳細」欄を設け、補足的な説明を付すことにより成績評価基準をより明確に示している。
- ・1年次生の履修科目(必修)において、ルーブリックを基に評価をしている。
- ・Moodle (Modular Object-Oriented Dynamic Learning Environment) を利用しての学修意欲の把握・評価を行っている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では全学的に統一した評価基準としてGPA 制を導入しており、2016 年度からは、さらに、国際標準化と厳格適用を方針として、下記の評価基準とした。

・評価基準

各授業科目の成績は100点を満点とし、60点以上を合格、60点未満を不合格とし、不合格科目には単位の認定は行っていない。成績は、下表「成績評価・評価点及び得点」の中の「成績評価」として成績表に表示、発表している。なお、表の「得点(総合点)」は、試験結果をそのまま下記の表にあてはめるわけではなく、平常点、定期試験、その他(例えば、授業での報告、課題の提出状況と内容など)をシラバスに明示の通り総合したものであり、それにより成績評価が行われている。

・成績評価・評価点及び得点

成績評価	評価点(GP)	得点(総合点)
A	4.0	96-100
A-	3.7	92-95
B+	3.3	88-91
B	3.0	84-87
B-	2.7	80-83
C+	2.3	76-79
C	2.0	72-75
C-	1.7	68-71
D+	1.3	64-67
D	1.0	60-63
F	0.0	0-59

・GPAの求め方(計算方法)

各評価に対するグレードポイント(評価点=GP:Grade Point)は「成績評価・評価点及び得点」の示すとおり、GPA値は履修科目のグレードポイントに科目ごとの単位数を乗じ、その合計を履修登録単位数の合計で除して求められる(単位数による加重平均)。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/gpa.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学は、(1)建学の精神および教育理念・教育目的に則り、グローバル社会の発展に貢献できる人材としてもつべき「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「態度・規律」「技能・表現」の5つの基礎力を修得し、(2)学則に定める所定の卒業要件を満たした者に、学士の学位を授与している。

学位授与基準及び学位授与手続きについては、ディプロマ・ポリシー、及び卒業要件の形で各学部学生ガイドブック・履修編に明示され、また年度初めのガイダンスで説明を行っている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京国際大学
設置者名	学校法人東京国際大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/financial_data.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/financial_data.html
財産目録	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/financial_data.html
事業報告書	https://www.tiu.ac.jp/about/manage/business_report.html
監事による監査報告(書)	https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/audit_report.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.tiu.ac.jp/about/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.tiu.ac.jp/about/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 商学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html) (概要) 商学部は、多様な国内・国際ビジネスの仕組みを理解し、ビジネス上の諸課題に実践的に対応できる能力を備えた人材を養成します。 商学科はビジネスにおいて必要とされる多様な専門知識を持ち、その応用能力を備えた人材を養成します。 経営学科は、経営に関する専門知識と実践力を持ち、それらを実社会で応用できる人材を養成します。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/) (概要) 商学部は、全学 DP で示す 5 つの基礎力を修得し、学則の定める卒業要件を満たし、次の能力を修得した者に学士の学位を授与します。 〔商学科〕：学士（商学） 1. 幅広い教養を基盤にビジネスに対する多様な知識と技術を有する。 2. 修得した知識と技術を基礎として、国内外で展開するビジネス社会で活躍するための専門性と実践力・応用力を有する。 〔経営学科〕：学士（経営学） 1. 幅広い教養を基盤にビジネスに対する多様な知識と技術を有する。 2. 修得した知識と技術を基礎として、急速な社会変化への対応力を持ち、ビジネス組織の運用を担う力を有する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/) (概要) 商学部は、全学 CP を共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。 1. 初年次に大学での学修の基礎を身につけるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。 2. 専門課程で学修する多くの科目の中から、学生の関心・進路に応じたテーマを中心に学べる「複数の履修コース」を設けます。 3. 基礎演習（2 年次）・専門演習（3 年次および 4 年次）において、商学および関連分野の多様な学修・研究を可能にします。 4. 地域と連携した講義や実践的な学修・活動を通じて、社会とつながる学修を進めます。 5. 多くの専門科目および演習・実践的な学修において、社会の現場における課題に果敢に取り組む実践力を磨く学修を行います。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/) (概要) 商学部では、大学の建学の精神と教育理念および本学部・学科の教育方針に賛同し、次の素養と意欲をもつ学生を求めます。 1. 大学での学修および活動に積極的に取り組む意欲と行動力を有する。 2. 高校での授業および活動などを通じて、基礎的な学力と基本的な学修態度を身につけている。 3. 〔商学科〕 市場（Market）の動向に関心をもち、ビジネス現場での実践力を修得する意欲を有する。 〔経営学科〕 企業の動向に関心をもち、経営能力、組織管理能力を修得する意欲を有する。

学部等名 経済学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)

<p>(概要)</p> <p>経済学部は、国際社会に生きる経済人として、世界を舞台にした経済活動に様々な分野からアプローチできる確かな理論と実践力を備えた人材を養成します。</p> <p>経済学科は、経済学を基軸とした知識をもとに、経済社会のさまざまな現場において、論理的に考え、問題解決を図る実践力を備えた人材を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/)</p>
<p>(概要)</p> <p>経済学部経済学科は、全学 DP で示す 5 つの基礎力を修得し、学則に定める所定の卒業要件を満たし、下記の能力を修得した者に学士（経済学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済社会のさまざまな現場で、経済学の知識・理解を応用し、総合的な思考力・判断力を活用して活躍の場を見出すことができる。 2. 現実の諸問題を経済学の学修から得た専門分野の分析力を活用して解決することができる。 3. 最適な戦略や政策を立案することができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/)</p>
<p>(概要)</p> <p>経済学部経済学科では、全学 CP を共通基盤とし、その上に、経済社会のさまざまな現場において、論理的に考え、問題解決を図る実践力を備えた人材の養成を目指し、次の方針を定めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初年次に大学での学修の基礎を身につけるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。 2. 専門課程では、学生の関心・進路に応じたテーマを中心に学べる「複数の履修コース」を設けます。 3. 現代経済専攻では、 <ol style="list-style-type: none"> ①経済学の基礎知識修得を基にして、経済について多面的に理解するとともに、広範な知識とスキルを身につけることを目指した科目を配置します。 ②自らの関心にもとづいて、様々な分野から自由に履修することができる<経済総合コース>、スポーツ分野、地域・公共分野からそれぞれ重点的に学ぶ<スポーツ経済コース>および<地域デザインコース>を設定します。 4. ビジネスエコノミクス専攻では、 <ol style="list-style-type: none"> ①ビジネス社会に必要な経済学的思考や戦略的思考を身に付け、実践の場においてそれらを活用できることを目指した科目を配置します。 ②金融に関する先端的な知識と問題解決能力を身につける<ファイナンスコース>、社会の様々な場面で、目標達成のために必要な戦略や政策を立案できる能力を鍛える<ストラテジストコース>を設定します。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>経済学部経済学科では、大学の建学の精神と教育理念および本学部・学科の教育方針に賛同し、次の素養と意欲をもつ学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学での学修および活動に積極的に取り組む意欲と行動力を有する。 2. 高校での授業および活動などを通じて、基礎的な学力と基本的な学修態度を身につけている。 3. 幅広い基礎知識や経済学的思考を、経済社会のさまざまな現場において活用したい意欲を有する。 4. ビジネスの現場に必要な論理的思考や戦略的思考とそれらの活用方法を身につけたい意欲を有する。

<p>学部等名 言語コミュニケーション学部</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>言語コミュニケーション学部は、国際コミュニケーションの知識と技術を磨き、国際社会で活躍できる応用力と専門性を備えた人材を養成します。</p> <p>英語コミュニケーション学科は、英語力を基軸に、国際コミュニケーションの知識と実践を統合的に探求し、国際社会に貢献できる人材を養成します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/)</p>

<p>(概要)</p> <p>言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科は、全学 DP で示す 5 つ基礎力を修得し、学則に定める所定の卒業要件を満たし、以下の能力を有する学生に、学士（言語コミュニケーション学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会の様々な分野において使える英語能力を有する。 2. 国際社会の多様な場面で通用する適切なコミュニケーション能力を有する。 3. 外国の言語の背景にある文化や歴史、文学などについても基礎的な知識を有する。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/)</p>
<p>(概要)</p> <p>言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科は、全学 CP を共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初年次に大学での学修の基礎を身につけるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。 2. 「基礎教育課程」では、国際人として必要な知識・理解を多角的な学修で磨き、基礎的な教養と幅広い知識を身につけるための多様な科目を設置します。 3. 「言語スキル科目」では、ネイティブ教員による少人数で徹底した実践的な英語力の修得を目指す科目を中心に、英語以外の外国語科目を設置し、多言語の修得を目指すことも可能な科目を配置します。 4. 学修方法の特徴として、多くの授業および演習・実践的な学修において、能動的な学修方法を積極的に取り入れ、社会の現場における課題に果敢に取り組む実践力のある人材を育てるための科目を配置します。特に「自由選択科目」では、ワークショップ型の科目を中心に配置します。 5. 専門教育分野は、「言語学/文学」、「グローバル・スタディーズ」「英語教育」そして「英語ビジネス」の 4 エリアで構成し、本学部の示す「言語と文化コース」、「英語教育コース」、「英語ビジネスコース」の 3 つの履修モデルコースと組み合わせて学生のキャリアや関心に合わせた科目履修を可能とする編成を行います。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科では、大学の建学の精神と教育理念および本学部・学科の教育方針に賛同し、次の素養と意欲をもつ学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学での学修および活動に積極的に取り組む意欲と行動力を有する。 2. 高校での授業および活動などを通じて、基礎的な学力と基本的な学修態度を身につけている。 3. 学部が重視する英語教育に取り組むための基礎的な能力を有する。 4. グローバル化社会に興味を持ち、多様な社会の理解に努める意欲と行動力を有する。 5. 国際社会におけるコミュニケーションに興味と意欲を有する。
<p>学部等名 国際関係学部</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>国際関係学部は、多様な国際社会の本質を理解し、理論と実践を統合し、世界で活躍する人材を養成します。国際関係学科は、国際問題を多面的思考で捉え、地球市民として現実に立ち向かう知恵と行動力を備えた人材を養成します。国際メディア学科は、国際的な視野で、的確な情報の受発信を通して真の共生社会実現をめざす人材を養成します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/)</p>
<p>(概要)</p> <p>国際関係学部は、全学 DP で示す 5 つの基礎力を修得し、学則の定める卒業要件を満たし、幅広い分野の学修を基礎に、国際関係学または国際メディア学を体系的に理解し、専門的知見を身につけた以下の能力を有する学生に学士の学位を授与します。</p> <p>〔国際関係学科〕：学士（国際関係学）</p> <p>国際社会の多様な価値観や考え方を理解し国際的問題を解決する実践力を有する。</p> <p>〔国際メディア学科〕：学士（国際メディア学）</p> <p>国際社会におけるメディアの役割を理解し情報受発信についての実践力を有する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/)</p>

<p>(概要)</p> <p>国際関係学部は、全学CPを共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初年次に大学での学修の基礎を身につけるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。 2. 基礎教育分野に、幅広い知識と教養を修得する科目を設置します。 3. 両学科共通専門分野として、「国際教育プログラム」を設置し、両学科の教育内容の連関性を強化し、相乗効果を高めます。 <p>「国際教育プログラム」には主に「現場学習プログラム」に関連する科目を設置します。</p> <p>「現場学習プログラム」は、理論と現場を結びつける学修の場とし、学修内容として「フィールドスタディ」「メディア」「インターンシップ」「学習支援・異文化交流」など、学内外をフィールドとする各種プログラムを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 両学科に共通の専門分野「ツーリズム」を設置することで、国際関係学科、国際メディア学科それぞれの専門科目群の学修を活かした多様な「観光人材」を育成します。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>国際関係学部では、大学の建学の精神と教育理念および本学部・学科の教育方針に賛同し、次の素養と意欲をもつ学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学での学修および活動に積極的に取り組む意欲と行動力を有する。 2. 高校での授業および活動などを通じて、基礎的な学力と基本的な学修態度を身につけている。 3. [国際関係学科] 国際社会の多様性を理解し問題解決のための実践力を修得する継続的努力ができる。 <p>[国際メディア学科] 国際的なメディアの役割を理解し情報発信能力の向上のための継続的努力ができる。</p>

<p>学部等名 人間社会学部</p>
<p>教育研究上の目的</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/manage/purpose_undergraduate.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>人間社会学部は、社会、文化、福祉、心理、スポーツのそれぞれの視点から人間と社会のかかわりを探求し、ひとの幸せのために、優しさと勇気を持って社会に貢献できる教養ある人材を養成します。</p> <p>福祉心理学科は、現代社会の諸問題を福祉の視点、心理の視点から捉え、専門性と総合的技術を備えた人材を養成します。</p> <p>人間スポーツ学科は、スポーツの知識及び技能を修得し、社会貢献に欠かせない行動力や指導力を心身の両面から備えた人材を育成します。</p> <p>スポーツ科学科は、人間諸科学の総合的な視点から、幅広く深い国際的な教養と豊かな人間性を兼ね備えたスポーツ競技者及びその指導者を目指す人材を養成します。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/diploma/)</p>
<p>(概要)</p> <p>人間社会学部は、全学DPで示す5つの基礎力を修得し、学則の定める卒業要件を満たし、次の能力を修得した者に学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公德心を備え、私たちが生活する社会における人と人との関わりを探究できる。 2. 幅広い知識や専門的能力をもって、人々の幸せのために貢献できる。 <p>[福祉心理学科]：学士(福祉心理学) 福祉や心理学を通じて他者との共生やこころのしくみを理解し、スペシャリストとして活躍できる。</p> <p>[人間スポーツ学科]：学士(人間スポーツ学) スポーツの視点から心身の関係を理解し、広く社会に貢献できる指導者や支援者としての能力や技術を有する。</p> <p>[スポーツ科学科]：学士(スポーツ科学) スポーツを人間諸科学の視点から理解し、スポーツ界を中心にさまざまな分野に貢献できる指導者や支援者としての能力や技術を有する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/policy/curriculum/)</p>

<p>(概要)</p> <p>人間社会学部は、全学CPを共通基盤とし、その上に、次の方針を定めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初年次に大学での学修の基礎を身に付けるための必修科目を配置し、基礎から専門へ体系的に学ぶカリキュラムを設定します。 2. 専門教育分野では、3つの学科にまたがって共通に学べる学科間共通科目と学科独自の専門科目とを設置します。 3. 実践的な知識を実技や実験、実習を通じて学修し、社会の現場における課題に取り組む力を育成します。 4. 資格の取得を希望する者には、学科ごとに必要な所定の科目を履修できるカリキュラムを設定します。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.tiu.ac.jp/entrance_examination/adpolicy/)</p>
<p>(概要)</p> <p>人間社会学部では、大学の建学の精神と教育理念および本学部・学科の教育方針に賛同し、次の素養と意欲をもつ学生を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学での学修および活動に積極的に取り組む意欲と行動力を有する。 2. 高校での授業および活動などを通じて、基礎的な学力と基本的な学修態度を身につけている。 3. 人間や社会に関心を持ち、こころと身体の関係性を軸として、それを社会の実践で活かそうという志を有する。 4. [福祉心理学科] こころのしくみに関心を持ち、また共生社会の実現や福祉のまちづくりに関心を持ち、実践的に活かそうという意欲を有する。 <p>[人間スポーツ学科] スポーツを通じて心身の仕組みなどについて学んだことを教育や社会活動に活かすことに関心・意欲を有する。</p> <p>[スポーツ科学科] スポーツを通じて人間諸科学の視点から人間や社会を理解し、科学的なスポーツ実践に関心・意欲を有する。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：https://www.tiu.ac.jp/about/organization/</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	7人	—					7人
商	—	23人	3人	1人	0人	0人	27人
経済	—	19人	11人	4人	0人	0人	34人
言語コミュニケーション	—	10人	3人	7人	0人	0人	20人
国際関係	—	15人	9人	6人	0人	0人	30人
人間社会	—	22人	7人	14人	2人	0人	45人
教養部（一般）	—	5人	1人	60人	1人	0人	67人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			139人				139人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://tiu-op-prtl.tiu.ac.jp/kg/japanese/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
◆全学FD研修会： 12/4							
◆商学部： 4/1・7/3・12/18							
◆経済学部： 4/24・3/27							
◆言語コミュニケーション学部： 5/22・6/26・7/17・9/18・10/16							
◆国際関係学部： 6/12・7/3・1/22							
◆人間社会学部： 7/10・1/22・2/19・3/11・3/23・3/31							
◆Eトラック運営機構： 8/30							
◆Global Teaching Institute (GTI)： 6/12・7/3・10/23・11/20							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商	180人	160人	88.9%	800人	826人	103.3%	若干名	1人
経済	435人	259人	59.5%	1,580人	1,440人	91.1%	若干名	4人
言語コミュニケーション	230人	221人	96.1%	960人	907人	94.5%	若干名	2人
国際関係	305人	205人	67.2%	1,210人	1,080人	89.3%	若干名	5人
人間社会	455人	471人	103.5%	1,870人	1,813人	97.0%	若干名	2人
合計	1,605人	1,316人	82.0%	6,420人	6,066人	94.5%	若干名	14人
(備考) 経済学部・国際関係学部は2020年秋入試を実施。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商	282人 (100%)	3人 (1.1%)	263人 (93.3%)	16人 (5.7%)
経済	283人 (100%)	11人 (3.9%)	251人 (88.7%)	21人 (7.4%)
言語コミュニケーション	172人 (100%)	0人 (0%)	158人 (91.9%)	14人 (8.1%)
国際関係	246人 (100%)	14人 (5.7%)	213人 (86.6%)	19人 (7.7%)
人間社会	444人 (100%)	2人 (0.5%)	414人 (93.2%)	28人 (6.3%)
合計	1,427人 (100%)	30人 (2.1%)	1,299人 (91.0%)	98人 (6.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
株式会社パレスホテル、株式会社ホテルオークラ東京、教員、警察官、市町村職員、消防官、全日本空輸株式会社、西武鉄道株式会社、りそなグループ、ANAエアポートサービス株式会社、ANA沖縄空港株式会社、ANA新千歳空港、アパホテル株式会社、アメリカン・エクスプレス・ジャパン株式会社。キューピー株式会社、クラブツーリズム株式会社、コナミスポーツ株式会社、コニカミノルタ株式会社、スズキ株式会社、ルートイングループ、羽田空港サービス株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社エスエスケイ、株式会社コーセー、株式会社マイナビ、株式会社ヤオコー、株式会社ヨロズ、株式会社沖縄銀行、株式会社星野リゾート・マネジメント、株式会社東京ベイ舞浜ホテル、株式会社日本旅行、株式会社武蔵野銀行、西武信用金庫、株式会社良品計画、三菱ふそうトラック・バス株式会社、総合警備保障株式会社、第一生命保険株式会社、東海旅客鉄道株式会社（JR東海）、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）、東武トップツアーズ株式会社、日本たばこ産業株式会社（JT）、日本郵便株式会社、米国三越株式会社、本田技研工業株式会社、陸上自衛隊 幹部候補生、Apple Japan 合同会社、IMSグループ（板橋中央総合病院グループ）				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業テーマ及び授業内容の記述を体系的な視点から授業の位置付け・学修の狙い等が分かるよう配慮した記述とすべく、毎回の授業方法に、講義・演習他、アクティブ・ラーニング方式等をシラバスに明記するよう依頼し、実質性のない授業計画にならないよう具体例を提示したシラバス作成要領を準備している。 ・シラバス記載項目として、授業(含実務経験のある教員等の実務経験を活かした実践的教育授業)の内容・方法、各回の授業計画、到達目標、成績評価の方法・基準、事前事後準備学修(含所要時間)、試験・課題等のフィードバック方法に加え、教科書・参考文献・成績評価基準に対するの補足記載欄、特記事項・関連科目や履修上望むこと・授業に関する質問への対応について項目を設けている。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスにおいて予め学生に示された成績評価基準(平常点・定期試験・レポート・その他)により厳格且つ適正に評価を行っている。平常点、その他については曖昧さを排除するために、「その他詳細」欄を設け、補足的な説明を付すことにより成績評価基準をより明確に示している。 ・1年次生の履修科目(必修)において、ルーブリックを基に評価をしている。 ・学位授与基準及び学位授与手続きについては、ディプロマ・ポリシー、及び卒業要件の形で各学部学生ガイドブック・履修編に明示され、また年度初めのガイダンスで説明を行っている。 				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
商	商	124 単位	有・無	40 単位
	経営	124 単位	有・無	40 単位
経済	経済	124 単位	有・無	40 単位
言語コミュニケーション	英語コミュニケーション	124 単位	有・無	40 単位
国際関係	国際関係	124 単位	有・無	40 単位
	国際メディア	124 単位	有・無	40 単位
人間社会	福祉心理	124 単位	有・無	40 単位
	人間スポーツ	124 単位	有・無	40 単位
	スポーツ科	124 単位	有・無	40 単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

入学年度・時期	学部名	学科名	授業料(年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
2020	商	商	850,000円	250,000円	300,000円	施設費
		経営				
	経済	経済				
	国際関係	国際関係				
		国際メディア				
	人間社会	福祉心理	900,000円		400,000円	
言語コミュニケーション	英語コミュニケーション					
人間社会	人間スポーツ	910,000円	0円			
	スポーツ科学					
2019 2018	商	商	850,000円	0円	300,000円	
		経営				
	経済	経済				
	国際関係	国際関係				
		国際メディア				
	人間社会	福祉心理	900,000円		400,000円	
言語コミュニケーション	英語コミュニケーション					
人間社会	人間スポーツ	910,000円	0円			
	スポーツ科学					
2017	商	商	850,000円	0円	300,000円	
		経営				
	経済	経済				
	国際関係	国際関係				
		国際メディア				
	人間社会	福祉心理	900,000円		0円	
言語コミュニケーション	英語コミュニケーション					
人間社会	人間スポーツ	910,000円	0円			
	スポーツ科学					
2020 秋入学	経済	経済 English Track Program	450,000円	250,000円	150,000円	施設費
	国際関係	国際関係 English Track Program				
2020 春入学	経済	経済 English Track Program	900,000円	0円	300,000円	
	国際関係	国際関係 English Track Program				
2019	経済	経済 English Track Program	1,000,000円	0円		

秋入学	国際関係	国際関係 English Track Program			
2019 春入学	経済	経済 English Track Program	1,100,000 円		
	国際関係	国際関係 English Track Program			
2018 春入学/ 秋入学	経済	経済 English Track Program	1,000,000 円		
	国際関係	国際関係 English Track Program			
2017 春入学/ 秋入学	経済	経済 English Track Program	850,000 円		
	国際関係	国際関係 English Track Program			
2016 秋入学	経済	経済 English Track Program	405,000 円		150,000 円
	国際関係	国際関係 English Track Program			

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>○オフィスアワー制度 本学では「オフィスアワー制度」を全教員の責務として実施し、学修相談・修学支援などの充実を図っている。</p> <p>○シラバスの充実による支援 授業内容に関する学習指導を適切に実施するため、シラバスには「授業に関する質問への対応」を記した項目を設け、授業に関する質問への対応可能な時間や場所を掲載しており、専任および専任以外の教員にも相談することが可能であることを学生に周知している。</p> <p>○履修指導支援 年度当初に実施している、新入生及び在校生別に行われる学部ごとのガイダンスでは、新入生へは、履修についての説明だけでなく、実際に時間割を作成させ、個別相談を行うことで履修についての不安を解消している。また、GPA が低調な学生、出席状況が思わしくない学生については、履修指導室において個別指導を行っている。</p> <p>○語学学習・留学支援 語学学習の充実と留学を希望する学生のために、補習・補充教育支援の機能も含め自発的な英語学習の拠点として、授業時間のほかに常駐する英語ネイティブの GTI(Global Teaching Institute) 教員から英語学習を受けられる English PLAZA を開設している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>○教育課程 各学部の基礎教育分野の TIU コア科目に自身のキャリア形成を考え、4年間の行動計画を作成する「大学生生活デザイン演習」を1年次生に対し学部横断の必修科目として開設し、充実したキャリア形成に向かう第一歩としている。</p> <p>○個別指導・就職支援デスク キャリアセンターでは、学生一人ひとりの立場に立って最適な進路が選択できるように、きめ細かくアドバイスする「個別指導」を行っている。本学の特色のひとつである体育会強化クラブの学生に対しては、スポーツ関連企業など、その特性を活かした、希望の企業に就職できるよう「アスリート就職支援デスク」を設置し、専門のコンサルタントがサポートしている。また、イングリッシュ・トラックの学生に向けては外国籍含むバイリンガルスタッフを配置し、各種支援行事の英語での開催や、日英両言語での相談体制を整えている。</p> <p>○就職ガイダンス 各学年を対象とした新学期ガイダンスの中で、キャリアについてや就職活動に向けてのオリエンテーションを行い、就職活動が本格化する学部3年生に対しては、学生が計画的に就職活動を行えるよう、「就職ガイダンス」「自己分析セミナー」「業界研究セミナー」「エントリーシート・履歴書セミナー」「面接特訓セミナー」などのガイダンスや各種セミナーを開催している。採用活動開始以降は「学内企業説明</p>

会」を複数回開催し、内定獲得に繋がる機会としている。また、一般企業への就職支援に加えて、外国人留学生には「外国人留学生就職ガイダンス」、イングリッシュ・トラック学生には英語での「キャリアガイダンス」、福祉系の学生には「福祉就職ガイダンス」、公務員を目指す学生には「公務員ガイダンス」を行うなど、学生の特性や進路希望に合わせたセミナーを開催している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

心身の健康保持・増進および安全・衛生への配慮として、第1キャンパス及び第2キャンパスに看護職員が常駐する保健室を設置し、健康診断の実施や要再検査学生への指導、疾病者の応急処置を行うとともに学外の病院とも連携して緊急時も適切な処置が取れる体制を整備し、学生の健康安全を支えている。また、本学では2017年度に学内全面禁煙を実施、2018年度には東京国際大学禁煙宣言を策定し、禁煙教育、啓発活動の推進、学外での本学関係者の喫煙抑止を呼び掛けている。あわせて産業医による「たばこの害」をテーマにした研修会動画を常時デジタルサイネージにて視聴できるようにし、健康への意識改革も行っている。

専門のカウンセラーが対人関係や、こころの不調などの相談に応じる学生相談室も第1キャンパスに設置し、保健室、学生相談室が相互に連携して心身の健康保持・増進を図っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.tiu.ac.jp/about/disclosure/>